

☆微生物の特性を十分理解したうえで、安全に微生物を扱うためのポイントを解説いたします！

微生物の培養・分離・同定の基礎とトラブル対応

1名分料金で
2人目無料

セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260437>

◆日時：2026年04月24日（金）12:30～16:30

◆会場：江東区産業会館 第2会議室

◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,500円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：麻布大学 名誉教授 古畠 勝則 氏

微生物の検査において培養法は基本となります。培養とは、検査する側の都合で微生物を増やすことです。したがって、培養法では目に見えないものすごい数の細胞を扱うことになります。取り扱う微生物の種類によっては感染症が発症する可能性があります。

この講義では、微生物の特性を十分理解したうえで、安全に微生物を扱うためのポイントをお話しします。はじめて微生物を取り扱う方、微生物の検査に携わっており、日頃から疑問に感じていることがある方など、是非ご参加ください。

1. はじめに

2. 微生物の特性

- (1) 細菌 (2) 真菌 (3) ウィルス

3. 細菌の増殖

4. 常在微生物

5. 感染と感染症

- (1) 感染の成立要因 (2) 現代の感染症

- (3) 易感性宿主

6. バイオハザード・バイオセーフティ

- (1) 危険度分類 (2) バイオセーフティレベル

7. 微生物制御

- (1) 減菌 (2) 消毒

8. 微生物の培養

- (1) 無菌操作 (2) 培地 (3) 分離培養 (4) 真菌の培養

9. 染色

- (1) 細菌染色(グラム染色) (2) 真菌の染色

10. 微生物の鑑別・同定

- (1) 選択分離培養 (2) 性状試験(生化学的性状試験)

11. 遺伝子検査

- (1) 増幅法 (2) 遺伝子型

12. トラブル対応

- (1) 培養が汚染した (2) 分離がうまくできない
- (3) 染色がきれいに染まらない (4) 性状試験が判定できない
- (5) 同定ができない

13. まとめ

『微生物』セミナー申込書

会社・大学		
-------	--	--

住 所	〒	
-----	---	--

電話番号		FAX	
------	--	-----	--

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料）※案内方法を選択してください。複数選択可。	<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送
-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------

●セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>